

# ことり新聞

December  
2022.12.1  
Vol.116



## 北之園看護部長

今年を振り返ると、最も印象に残っているのはコロナ禍3年目にして、複数病棟でクラスターが発生したことです。この時、職種問わず、職員一人一人が、自分の役割を最大限に発揮し、予防策に取り組む危機対応力の高さに感動しました。組織力の強さは、有事の時にわかります。千里中央病院は、とても組織力が高いと証明された時期でした。それは、職員一人一人の力ですので、誇りに思っています。

この場をお借りて、皆様に感謝のお礼を申し上げます。

「有難うございました。そして、これからも皆さんと一緒に個々が成長できる 環境づくり努めたいと考えています。」



## 12月研修



- 10日 法人主催卒後3年目 「看護観の発表会」
- 14日 法人介護職研修「褥瘡予防」
- 20日 卒後2年目ケーススタディ発表会

## 12月行事



- 11/28～15日大阪医療看護専門学校実習
- 11/29～15日大阪青山大学実習
- 4日 市民健康展（文化芸術センター）
- 6・9・13・16日 コロナワクチン接種



## 第53回日本看護学会・学術集会（11/8・9）

東6階 看護師長

今回の学会テーマは 「変化する社会で求められる看護の役割～地域における健康・療養支援の強化～」 と、慢性期患者の療養支援を担う当院に直結するテーマでした。東6階病棟からACPに関する発表を行い、会場より質問も頂き発表者にとっていい経験となりました。

講演では看護補助者の確保や「地域で生きる」を支える組織の紹介などがあり沢山の情報を得ることができ有意義な時間となりました。研究発表で印象に残ったワードは **感情労働** でした。皆さんはご存知でしょうか？ 要約すると、“相手の感情に注意を払い、自身が理解や共感を相手に伝えるためのスキル”の事です。このスキルを磨くと、患者・家族、そして組織内でのコミュニケーションを円滑に行うことができます。普段、自分が行っているコミュニケーションを振り返るいい機会となりました。

今回忙しい中、学会参加させて頂いた事に感謝致します。是非、皆さんも学会発表、参加してみてください！



## 1階エントランス写真入れ替え

患者サービス委員会により1Fエントランス（面談コーナー）「写真で見える！みんなのお仕事」を一部ユニフォーム紹介へ入れ替えています。各職種が一目でわかります。「モデル良し！カメラマン良し！」で素敵な出来となっております。

皆さん是非ご覧ください。

写真撮影にご協力頂いたスタッフの皆さんありがとうございます。

カメラマンの放射線技師さんありがとうございます。



## 10月 新規褥瘡発生 8人

(11月褥瘡予防対策委員会より)